

奈良国立文化財研究所

年 度	名	担 当 者
昭和29年度	第一冊 南無阿弥陀仏作善集(複製)	田沢 坦
昭和30年度	第二冊 西大寺叡尊伝記集	小林 剛
昭和38年度	第三冊 仁和寺史料 寺誌編一	田中稔、狩野久
昭和39年度	第四冊 俊乘房重源史料集	小林 剛
昭和41年度	第五冊 平城宮木簡一	田中(益徳)、田中(琢)、狩野、原、横田(拓)、鬼頭、加藤
昭和42年度	第六冊 仁和寺史料 寺誌編二	田中稔、狩野久、加藤優

奈良国立文化財研究所年報総目録(一九五八年—一九六八年)

一九五八年	緒言—奈良国立文化財研究所の組織と役割について……………	1	川原寺第三次発掘調査概要……………	2
	彫刻の調査と研究経過(彫刻)……………	3	明恵上人の高山寺庵室について……………	8
	興福院ふくさ及び東大寺図書館の厨子(工藝)……………	5	資料紹介	
	奈良県下仏画調査概要(絵画)……………	11	興福寺中金堂前の灯籠台石……………	7
	昭和32年度庭園遺跡調査概要(遺跡庭園)……………	18	鶴林寺「聖徳太子伝」壁画……………	17
	法隆寺東室の間取(建築)……………	18	仁和寺 諸寺縁起四種……………	19
	川原寺第一次・第二次発掘調査概要(建築・考古)……………	23	一金峯山木縁起……………	19
	興福寺蔵「興福寺維摩会料当国不足米餅定案」紙背文書(古文書)……………	29	二当麻寺縁起……………	21
	高山寺所蔵「東寺講堂指図」(建築 古文書)……………	43	三明通寺縁起……………	21
	奈良国立文化財研究所要項……………	35	四和州橘寺勧進帳……………	26
一九五九年	序言……………	1	図版解説	
			白朱子地椿樹万字つなぎ文様縫消能衣裳……………	16
			昭和三十三年調査研究概況……………	28
			組織と構成……………	33
			一九六〇年	
			昭和34年平城宮跡第2次発掘調査概要……………	1
			彫刻の調査と研究経過……………	5
			仁和寺「常瑜伽院指図」について……………	11
			飛鳥板蓋宮伝承地発掘調査概要……………	14
			遺跡・庭園の調査……………	27
			図版解説(住吉盆・鏡)……………	26
			昭和34年度調査研究概況……………	33
			研究所の組織と構成……………	34
			一九六一年	
			緒言……………	1
			唐招提寺総合調査概要……………	2
			昭和35年平城宮跡第3・4・5次発掘調査概要……………	18
			頭塔の実測調査を了えて……………	28
			彫刻の調査と研究経過……………	35
			昭和35年度調査概要……………	38
			奈良国立文化財研究所要項……………	40
			一九六二年	
			緒言……………	1
			平城宮跡第6・7次発掘調査概要……………	2

昭和36年度西大寺調査	9
昭和36年度唐招提寺総合調査概要	18
東洋文庫所蔵維摩会并東寺灌頂記(抄)	27
彫刻の調査と研究経過	31
庭園遺跡の調査と研究経過	37
昭和36年度調査研究概要	38
奈良国立文化財研究所要項	40
一九六三年	
緒言	1
平城宮跡第9・10次発掘調査概要	2
西大寺工芸調査概要	10
法隆寺中門金剛力士像実測調査概要	15
「理趣経曼荼羅図」拾遺	19
西寺跡第3次発掘調査概要	23
小堀遠州関係資料の採訪	29
唐招提寺所蔵「一字結縁法華経」・「伝法灌頂作法」について	34
昭和37年度調査研究概況	38
奈良国立文化財研究所要項	40
一九六四年	
緒言	1
第13次平城宮発掘調査出土の木簡	2
西大寺彫刻調査概要	9
舞鶴地区の美術工芸調査	15
後西院御所茶座敷の指図	21
写真測量の文化財調査への応用	24

一乘院発掘調査概要	26
仁和寺所蔵「本尊随法不同事等」紙背文書	31
昭和三八年度平城宮発掘調査概報	35
奈良国立文化財研究所要項	40
一九六五年	
秋篠寺調査概要	1
昭和39年度平城宮出土の木簡	11
等置寺調査概要	15
春覚寺所蔵地藏菩薩立像造像記	20
西大寺奥院骨堂調査概要	24
阿伽井及阿伽井屋について	26
昭和39年度平城宮発掘調査概報	30
奈良国立文化財研究所要項	41
一九六六年	
寺地と境界の種々相	1
元興寺極楽坊・智光曼荼羅図(板絵)のX線調査	8
山笠山竹 山寺所蔵 地藏菩薩立像	12
舞鶴地区の美術工芸調査(続)	16
唐招提寺所蔵 大般若経卷第六百(春日若宮経)について	19
昭和40年度平城宮出土の木簡	27
昭和40年度平城宮発掘調査概報	31
旧一乘院関係近世文書の収集	41
奈良国立文化財研究所要項	54
一九六七年	
大安寺発掘調査概要	1

阿形邦三氏蔵 刺繡阿弥陀三尊来迎図	6
富貴寺大堂壁画調査概要	11
浄瑠璃寺所蔵 不動三尊立像	14
東大寺山界四至図について	18
仁和寺所蔵 絵目録断簡ならびに貞観格一逸文	23
平城宮建築復原模型(昭和41年)	27
昭和41年度平城宮出土の木簡	31
昭和41年度平城宮発掘調査概要	35
奈良国立文化財研究所要項	46
一九六八年	
緒言	1
平城宮発掘10年の進展	2
一 平城宮の発掘調査の現況と課題	2
二 発掘調査と記録の方法	6
三 遺物の科学的保存処理	10
四 模型製作と遺跡覆屋の建設	13
鏡神社所蔵 楊柳観音像	17
唐招提寺所蔵 伝葉師如来・伝獅子吼菩薩立像実測調査概要	21
「葉師寺中下臈検断之引付」について	25
平安末期の建物にみられる頭貫の手法	29
和歌山県民家調査概要	31
永保寺調査概要	35
奈良国立文化財研究所要項	37
奈良国立文化財研究所年報総目録	45

職員 (昭和43年10月現在)

所屬	氏名	官職	担当
美術工 芸研究 室	小林 剛	文部技官 所長	繪画
	石藤 守雄	文部事務官 課長	文部技官
	国井 和朗	同 課長補佐	文部技官
	西村 県治	同 専門員	文部技官
	岩本 次郎	同 庶務係長	文部技官
	坂口 義尚	同 會計係長	文部技官
	八幡 扶桑	同 (併)	文部技官
	井上 政和	文部事務官	文部技官
	加藤 建夫	同	文部事務官
	丹阪 信次	同	文部事務官
	木寅 忠雄	同	警務員長
	森田 光治	同	警務員長
	岡田 博无	同	警務員長
	西田 健三	同	警務員長
	中西 建夫	文部技官	警務員長
松尾 妙子	同	警務員長	
上岡三佐子	技術補佐員(非常勤)	警務員長	
松本三三子	事務補佐員(同)	警務員長	
港 悦子	同	警務員長	
米山ゆり子	同	警務員長	
高橋 靖子	同	警務員長	
山下 久子	同	警務員長	
梶 幸治郎	技術補佐員(同)	警務員長	
脇本みよ子	事務補佐員(同)	警務員長	
東田すみ子	同	警務員長	
守田 公夫	文部技官 室長	警務員長	
平田 寛	同	警務員長	

所屬	氏名	官職	担当
美術工 芸研究 室	長谷川 誠	文部技官	彫刻
	梅津 次郎	調査員(非常勤)	繪画
	伊藤 延男	文部技官 室長	建築
	沢村 仁	同 (併)	建築
	牛川 喜幸	同 (併)	建築
	宮沢 智士	同 (併)	建築
	田中 稔	同 (併)	建築
	田中 琢	同 (併)	建築
	狩野 久	同 (併)	建築
	本村 豪章	同 (併)	建築
	河原 純之	同 (併)	建築
	八賀 晋	同 (併)	建築
	新田 義門	調査員(非常勤)	建築
	堀池 春峰	同	建築
	坪井 清足	文部技官 部長	建築
沢村 仁	同	建築	
宮沢 智士	同	建築	
猪熊 兼勝	同	建築	
高島 忠平	同	建築	
阿部 義平	同	建築	
小笠原好彦	同	建築	
宮本長一郎	同	建築	
木下 正史	同	建築	
田中 琢	同	建築	
牛川 喜幸	同	建築	
本村 豪章	同	建築	
三輪 嘉六	同	建築	
石井 則孝	同	建築	
横田 義章	同	建築	

所屬	氏名	官職	担当
美術工 芸研究 室	村上 詔一	文部技官 室長	建築
	狩野 久	同	建築
	佐原 真	同	建築
	松下 正司	同	建築
	藤原 武二	同	建築
	伊東 大作	同	建築
	石松 好雄	同	建築
	安達 厚三	同	建築
	坪井 清足	同	建築
	八賀 晋	同	建築
	細見 啓三	同	建築
	工業 善通	同	建築
	森 郁夫	同	建築
	西谷 正	同	建築
	栗原 和彦	同	建築
田中 哲雄	同	建築	
横山 浩一	同	建築	
河原 純之	同	建築	
町田 章	同	建築	
佐藤 興治	同	建築	
山沢 義貴	同	建築	
八幡 扶桑	同	建築	
佃 幹雄	同	建築	
真木 礼子	同	建築	
田中 稔	同	建築	
横田 拓実	同	建築	
鬼頭 清明	同	建築	
加藤 優	同	建築	
真鍋 俊照	同	建築	
石川千恵子	同	建築	